

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年11月10日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	三木町	代表者名	三木町長 伊藤 良春
担当者部署	政策課	連絡先電話番号	087-891-3302
担当者役職	係長	担当者氏名	森 夢央
住所	761-0692 香川県三木町大字氷上310番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	川崎 直也
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none">この度の支援内容は、本町の職員に対する「業務改革の進め方に関する説明会」に参加していただき、平成30年度に泉大津市様で実施した業務改革推進プロジェクトでの体験談等を紹介していただいた。行政職員目線からのご意見やプロジェクト実施後の泉大津市様の現状・経過状況など貴重なご意見を聞く機会となった。
アドバイザーへの要望事項	引き続き、ご支援いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年11月6日	9時30分	16時00分	75	315
3-2. 派遣場所	会場名	三木町役場	最寄駅	学園通り駅	
	所在地	香川県木田郡三木町大字氷上310番地	最寄駅からの交通手段	徒歩5分	
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	管理職:8名、係員:22名	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">職員の業務改革への意識付けを行う実際にどのようなやり方で業務の棚卸し、課題の洗い出しを行うか課題解決をどのように行うか業務改革を推進するスケジュール感の共通認識	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">業務改革を進める理由の共有業務の棚卸しを実施する体制の整備課題解決に向けた将来ビジョンの共有スケジュール感の共有	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・午前(管理職向け)、午後(係員向け)2回に分けて行った「業務改革の進め方に関する説明会」において、上記の課題に対する詳細なご意見をいただいた。特に、泉大津市様は先行して取組まれていたこともあり、プロジェクトを実施した当時の体験談やその後の経過状況など、現場の生の声は非常に参考になった。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none">人口減少の影響により職員数は削減される一方で、災害等の発生により業務量は拡大傾向にある。そこで、少ない職員数でも業務・サービスを現行の水準で提供できるようにするため業務改革を推進する、といった業務改革を進める理由を職員間で共有できた。業務の棚卸しや課題の洗い出し方、さらには、課題解決に向けた将来ビジョン(業務改革の実現は、長期スパンで考える必要がある)について職員間で共有できた。ICTソリューション導入に係る課題(予算化・担当課との温度差など)も知ることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	地方創生臨時交付金により予算確保ができたため、令和2年度中に「業務改革推進計画」を策定する。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

